

## 2025\_0117 「浅間山の薄明光線（動画）」日々の理科 3816号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「薄明光線（はくめいこうせん）」というのは、主に夕暮れ時に太陽が沈む前後に、雲の隙間から上空に向かって放射状に広がるように見える光線です。通常は地平高度の低い「積雲」や「層積雲」によって形成されます。しかし稀に、火山の噴気によって形成される場合もあります。

この日も北軽井沢から見た浅間山に、ちょうど山頂火口壁近くに太陽が沈みました。太陽が沈んだあとに、白煙（噴気）の隙間から「薄明光線」が現れました。積雲や層積雲によってできる薄明光線は動きが緩慢ですが、火山噴気による薄明光線は動きが激しく、ダイナミックです。まるで太陽光線が踊っているようで、面白い動画になりました。

(2025年1月中旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

